

## 2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 北九州市立中井小学校 ] 担当教諭名 [ 木下 裕介 ] ( 5年生 93名 )

相手国・地域 [ フランス ]

海外学校名 [ College Saint Paul Rezé ] 担当教諭名 [ Carel Bama ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	Nakai Global Project	45
	国語	明日をつくるわたしたち	6

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	公害を克服し、きれいな環境を取り戻そう
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの自然環境の美しさ</li> <li>・どうすればきれいな環境を取り戻すことができるのか</li> </ul>



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して一つのものを作り上げるという活動を通して、大きな達成感や仲間との協働の喜びを味わうことができた。</li> <li>・言葉が違って、思いや考えを伝えようと工夫することで気持ちを伝え合うことができることを学んだ。</li> <li>・壁画を作成する体験の中で、絵を描くことの楽しさや難しさを学ぶことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の中にアートマイルの活動時間を組むことが難しく、相手校とうまく連絡をとることができない時期があった。</li> <li>・5年生にとって2学期は他に多くの行事があり、2学期を通して行うアートマイルの活動に対するモチベーションを保つことが難しかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動の学習では、以前よりも積極的に英語を学ぼうとする姿が見られた。また、英会話の際に、ボディランゲージを使いながら相手に意図を伝えようとする姿が見られた。</li> <li>・家庭学習の際に、自ら進んで外国の風土や有名な建造物について調べてくるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは、海外の学校と一つのプロジェクトを行い、壁画を送り合うことにしり込みしていたが、事務局の協力もあり、スムーズにやり取りができ、こういった活動を身近に感じるようになった。</li> <li>・他国の小学校のことを身近に感じるようになった。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	・学校紹介 VTR ・自己紹介写真	・初めて同年代の海外の児童と触れ合うこともあり、とても楽しく活動することができた。	総合10
共有 テーマ学習	10月	・テーマ決め ・北九州市やフランスが抱える環境問題について話し合い ・北九州市の公害克服の歴史や環境について調べ学習	・フランスとのやり取りの中で「環境」というテーマを決め、12月実施予定の「北九州市環境首都検定」の学習と関連させて調べ学習を行った。	総合10 国語6
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	・北九州市在住の画家を招聘し、画面の構成や絵具の使い方のレクチャーを受ける。	・初めてテントのような大きな物に絵を描くので勝手に分からず苦労していたが、外部講師の助けもあり、分担してデッサンを描き上げることができた。	総合10
創造 壁画制作	12月	・壁画作成 ・年賀状・贈物作成 ・作品紹介 VTR	・昼休みや放課後などの時間を使って、細部までこだわり作品を完成させることができた。 ・VTR や贈物などを役割分担しながら集中して作り上げることができた。	総合10
評価 振り返り 自己評価	3月	・作品鑑賞	・フランスの児童が描いた部分と自分たちが描いたものを比較し、違いや共通点を探し、自分たちの思いが通じていることを実感していた。	総合5

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	・北九州市の環境についてアートマイルを通して学び、環境首都検定では、多くの児童が高得点を取ることができた。
異文化を理解する力	3	・他国のことを積極的に学ぼうとする姿勢は見られるようになったが、全ての児童には身につかなかった。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	・インターネットや図書室の資料を活用し、自国やフランスの環境について分かりやすくまとめることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	・時差の関係もあり、SKYPE などを使って直接フランスの児童とやり取りする機会がなかったことが残念だった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	・画面の構成を考える時などに、友達の見いに対してより分かりやすく伝わるようにアドバイスをする場面が見られた。
主体的に考え行動する力	5	・自らの役割をきちんとこなし、やるべきことを考えて自分から行動することができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	・どの児童も、友達と協力して分担した役割を果たすことができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	・自分たちの学校や作品の紹介するVTRを作成した。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	・フランスの児童が描いた部分と自分たちが描いたものを比較し、違いや共通点を探しながら鑑賞することができた。